

## I 第12週の発生動向 (2010/3/22~2010/3/28)

1. 感染性胃腸炎については、県全体で大幅に減少していますが、東地方+青森市、上十三保健所管内においては平年を上回る届出数で推移していることから引き続き注意が必要です。
2. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第3週から**警報**が継続しています。

## II 第12週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ			6	0.4			2	0.3					8	0.1	-14				
小児科 (74) RSウイルス感染症			3	0.3					1	0.2			4	0.1	-3				
(75) 咽頭結膜熱	4	0.4	2	0.2	1	0.1			1	0.2	5	1.3	13	0.3	7			4	0.5
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	3.3	4	0.4	3	0.3	1	0.2	10	1.7	9	2.3	57	1.4	-1			30	3.8
(77) 感染性胃腸炎	44	4.9	28	3.1	26	2.9	15	3.0	37	6.2	26	6.5	176	4.2	-89	8	8.0	36	4.5
(78) 水痘	12	1.3	8	0.9	5	0.6			4	0.7	1	0.3	30	0.7	-41			12	1.5
(79) 手足口病											1	0.3	1	0.0	0				
(80) 伝染性紅斑	1	0.1			2	0.2			13	2.2	5	1.3	21	0.5	-1			1	0.1
(81) 突発性発しん	4	0.4	4	0.4	1	0.1			2	0.3	2	0.5	13	0.3	5			4	0.5
(82) 百日咳			1	0.1									1	0.0	1				
(83) ヘルパンギーナ	1	0.1	1	0.1									2	0.0	2			1	0.1
(84) 流行性耳下腺炎	6	0.7	3	0.3	1	0.1	11	2.2	3	0.5			24	0.6	-7			6	0.8
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角膜炎															-1				
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎					5	5.0					2	2.0	7	1.2	-3				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 表II以外の感染症法対象疾患

(注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、青森市1人

(22年計：63人)

## IV 病原体検出情報

新型インフルエンザウイルスは、インフルエンザ病原体サーベイランスにより、青森地域では3月14,15日、上十三地域では3月15日、八戸地域では3月13,15日、弘前地域では3月23日に採取された6検体からAH1pdmが検出されています。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

# 感染症の惑

# アメーバ赤痢

(五類全数把握)

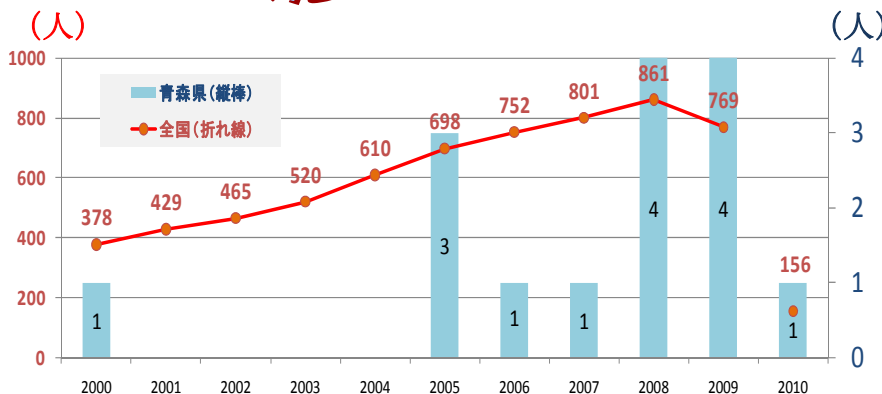


図 全国及び青森県における届出数年次推移

(全国値は第10週、青森県は第12週現在までの速報値です)

表1 検査方法

検査方法	件数 (同一患者の重複あり)
鏡検による病原体の検出 (大腸粘膜組織)	6
鏡検による病原体の検出(便)	1
血清抗体の検出	6
その他(内視鏡検査)	2

表2 病型分類 (N=11)

病型分類	患者数
腸管アメーバ症	9
腸管外アメーバ症	1
腸管及び腸管外アメーバ症	1

本疾患は原虫に分類される赤痢アメーバ (*Entamoeba histolytica*) による感染症です。青森県では、第11週弘前保健所管内において2010年初めての届出がありました。本事例は、下痢、腹痛を主症状とする腸管アメーバ症と肝膿瘍を主症状とする腸管外アメーバ症の両方を併せ持った事例でした。本疾患の感染症発生動向では、2000年以降から増加傾向にあり、2009年は僅かに減少に転じましたが、年間769人というこれまでのうち2番目に多い届出数です(左図)。感染原因には汚染された飲食物や患者便の経口摂取などが考えられます。

※ 表1、表2は青森県2006-2010第12週現在までの集計結果です。

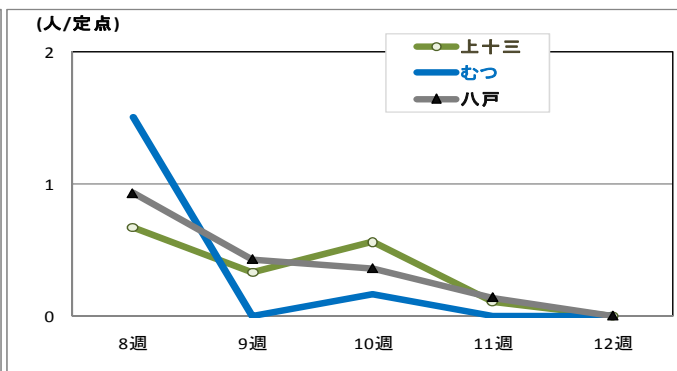
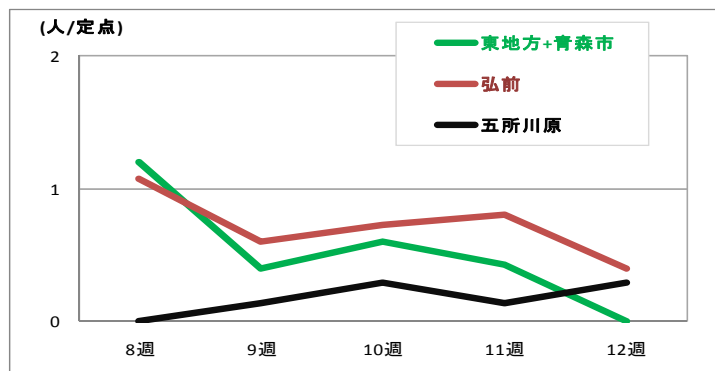
## V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

・青森県全体の届出数は8人(14人減少)です。

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

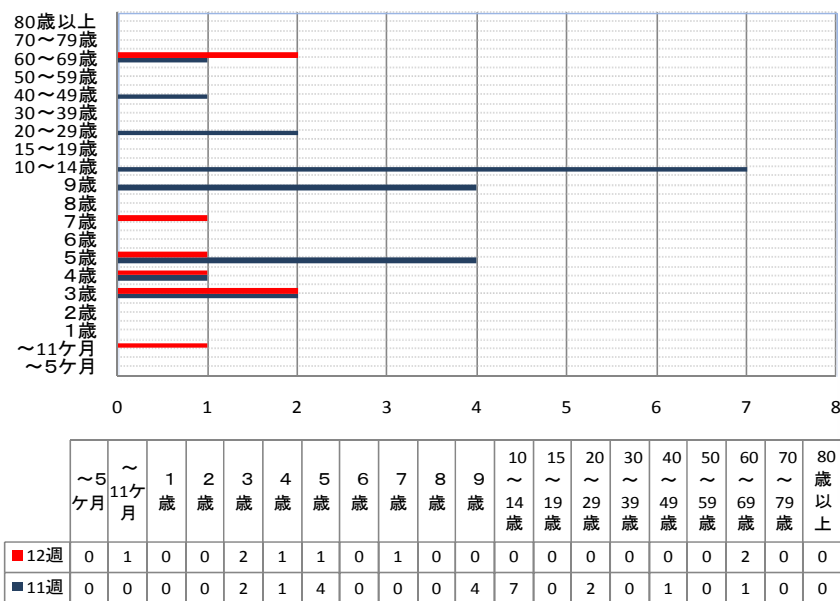
	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	0	6	0	2	0	0	0
A型	0	6	0	2	0	0	0
B型	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0

V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移 (インフルエンザ)



・警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報開始レベルは10人/定点です。

V-3 年齢別構成 (インフルエンザ 2週比較) 単位: (人)



( 青森県保健所管内マップ )



V-4 全国のインフルエンザ情報

第11週現在、富山県においてインフルエンザ注意報発令保健所が存在しています。

VI 感染性胃腸炎情報 (保健所管内別 青森県)

